

地域少子化対策強化事業計画書（市町村分）

都道府県名 三重県

市 町 村 名	多気町
事 業 名	多気町地域少子化対策強化事業
事業の趣旨・目的	当町の少子化対策の強化を目的とし、結婚・妊娠・出産・育児とライフステージが変わっていく中、安心して子育てができる仕組みを構築することを目的とする。
実 施 期 間	交付決定後 ～ 平成27年3月31日
所 要 見 込 額	287,000円（今回追加申請分：170,000円）
地域の実情と課題	当町の合計特殊出生率はここ5年間1.3程度という非常に低い水準で推移しており少子化問題は喫緊の課題である。そのため出逢いの場を提供し、結婚して本町で安心して子育てができ、定住し、またその子ども達が本町で結婚し、定住して子育てができる魅力ある仕組み作りが必要である。
事 業 内 容	<p>1 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行うための仕組みの構築 少子化対策県民運動等推進事業（県事業） 結婚したい人が結婚でき、子どもを産みたい人が安心して産み育てられる地域社会づくりをめざして、多様な主体の参画を得ながら少子化対策に関する県民運動を展開</p> <p>2 結婚に向けた情報提供等 みえの出逢い支援事業（県事業） 結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目ない支援」の実現に向け、結婚に向けた情報提供等に取り組む。</p> <p>3 妊娠・出産に関する情報提供 思春期保健教室事業（交付決定済） 小中学生を対象に、子どもの出産過程の教育を実施し正しい知識を情報提供する。（幼少期から妊娠・適正妊娠時期・出産（不妊を含む。）についての正しい知識を付与するという先駆的な取り組みである。） 思春期児童（小学6年生×5校、中学3年生×2校）に対し、助産師による命の大切さや愛され感について、胎児人形や出産スライドなど媒体を使い講義する。また、中学生については、性について産婦人科医が思春期の性を中心に講義する。それぞれ、町内の各学校で実施する。</p> <p>4 結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備 健やか親子支援事業（県事業） 出産前後の妊産婦の支援の強化のため、医療機関を含めた周産期からの関係機関のネットワーク構築事業を行う。 子育て講演会【タイトル未定】（新規） 子どもは生まれてからどう育っていくかは親（大人）の責任です。子どもを出産してどのように育てていくか。子どもは、食べること、寝ること、遊ぶこと、愛される事は絶対的な権利です。このような子育ての基本的なことを講演会形式で幅広い住民のみなさんに聞いていただき、子育ての楽しさと大切さを理解してもらい、安心して妊娠・出産・子育てができるまちづくりを目指すための先駆的な取り組みである。 また、結婚・妊娠・出産・育児をサポートする関係者等で構成された委員会（名称未定）を組織し、講演会へ向けての準備、当日の運営、講演会後には協議の出来る場を設け、講演会での話題を中心に本町での現状課題などを確認し、改善・解決・対策に向けて話し合う予定である。 <内容・効果> ・思春期の子どもたちの生きづらさ、子育て世代の愛着形成確立の困難さ等の問題を身近に感じる昨今、一部署で解決できるものではないとの思いから、地域関連機関の連携のもと講演会準備を進めることで、まず課題として共有したい。その上で、講演会后、各機関の特色を生かした活動を展開していくこととし、それらの歩み・学び自体が地域全体を補完しあっている課題解決につながっていくものとする。</p>

	<p>・</p> <p><先駆性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・以上のような形で、町内の様々な団体・関係部署が思いをひとつに、結婚・妊娠・出産・育児のライフステージを通しての連携関係が構築されるのは、多気町として初めての取り組みであり、“子どもの育ちを保障する人権教育を柱とした支援”という特色ある意義を備えた先駆的内容となる。 <p><謝金の必要性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・内田美智子氏は、助産師として34年、思春期保健相談士として24年の経歴を持ち、長年の現場・臨床からの体験・データをふまえた現代の社会状況から語って下さる。それは、「子どもに愛情が注がれることの重要性」であり、「いのちと心を支える食の問題」を、ご自身で導き出された原点とされているものである。全国からの講演依頼も多く、様々な媒体でも紹介され、また、胸を打つ著作も多い。その著書がきっかけで、どうしても内田氏に来ていただきたいと願っており、福岡県からの往復旅費も含めた金額を計上させていただきました。
事業の効果	<p>思春期保健教室事業（交付決定済）</p> <p>思春期において正しい知識を習得することにより、出産に対して適切な計画設定ができるようになる。</p> <p>子育て講演会（新規）</p> <p>思春期の子どもたちの生きづらさ、子育て世代の愛着形成確立の困難さ等の問題を身近に感じる昨今、一部署で解決できるものではないとの思いから、地域関連機関の連携のもと講演会準備を進めることで、まず課題として共有したい。その上で、講演会后、各機関の特色を生かした活動を展開していくこととし、それらの歩み・学び自体が地域全体を補完しあっていく課題解決につながっていくものとする。</p>
都道府県との連携方法	<p>町独自事業と合わせ県実施事業とも相互連携を図りながら結婚・妊娠・出産・育児の「切れ目のない支援」を展開していきます。</p>